



すみだ福祉保健センター所長就任挨拶

皆様はじめまして。6月21日付けで、前任の横山所長に代わりまして、すみだ福祉保健センターの所長に就任いたしました、大滝信一でございます。

当センターは子どもから高齢者の方まで多くの皆様が、地域の中で自分らしく生活できるお手伝いをするため、福祉と保健の枠を超えて質の高いサービスを提供しています。

今後、墨田区の高齢化率はさらに高まることが想定されており、センターの役割の重要性もより一層高まってきます。これからも皆様の期待に応えられるよう、センターの職員が一丸となって、頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



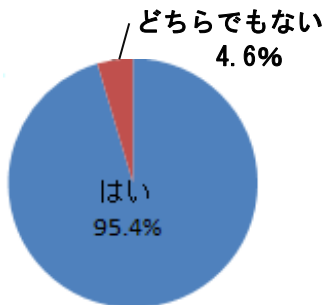
新所長 大滝 信一

アンケート結果の報告

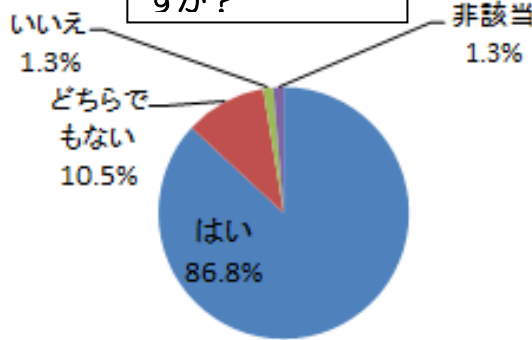
令和3年度末に実施したアンケートへのご協力ありがとうございました。対象者178名のうち、152名の回答がありました。(回収率: 85.4%) 一部を抜粋してご報告します。

右のグラフ①「職員の言葉遣い、態度」と②「職員への信頼度」の結果は、高い評価をいただき、昨年と同水準でした。

① 職員の言葉遣いや態度は丁寧ですか？



②何かあった時職員に話しやすいですか？



接遇に関して職員研修を実施している成果と考えています。今後も、利用者支援にあたり絶えず自己点検や相互点検に努め、人としての尊厳を大切にしたいと考えています。

アンケート結果を踏まえ、今後についての展望

＜半日コース＞利用者の心身機能や生活状況の変化を的確に把握して利用者が効果を実感できるようなプログラムを提供して行きます。また、多職種が連携して支援を行い、話し合いを重ね充実したサービスを提供して行きます。

＜1日コース＞集団体操の内容を見直し、皆で行う体操にしっかり取り組むことで、下肢筋力を強化し機能維持向上を図りご自身の自信へと繋がられるように支援します。

今月のカレンダー

今月のカレンダーは、夏の花や野菜です。顔彩と色鉛筆で色付けをしました。自由課題もあり、それぞれ個性的なカレンダーに仕上がりました。



シリーズ熱中症1 ～データ編～

今月から、熱中症についての情報を3回シリーズでお送りします。消防庁が発表した資料によると、令和3年7月中に熱中症で救急搬送された人数は全国で21,372人でした。そのうち、高齢者が約56%を占めています。（右グラフ参照）

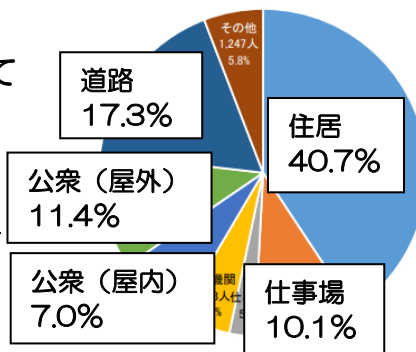
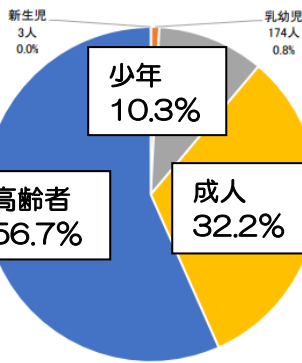
また、熱中症の発生場所については、住居が40%を占め、公衆（屋内）も含めると、約47%の人が建物の中で発生しています。

以上のことから、熱中症は高齢者がなり易く、屋内で発生し易いということがわかります。

予防するには？

- ① 水分をこまめにしっかりととりましょう！
- ② 涼しい洋服を着て、エアコンを適切に使いましょう！
- ③ ご飯をしっかり食べて睡眠をたっぷりとりましょう！
- ④ 塩分も程よくとりましょう！

次回は熱中症になりやすい環境とその予防についてまとめます。



避難訓練を実施しました

5月18日（水）、避難用滑り台を使用しての防災訓練を職員で行いました。車いすの方が、2階から滑り台を使って避難する練習を行いました。シートや大きなバスタオルを使用し、安全に移乗できるよう工夫しました。



6月8日（水）、利用者の皆さんも参加し、避難訓練を行いました。地震後の火災を想定して、2階から1階への避難練習をしました。久しぶりの階段に緊張している方もいましたが、職員が付き添って訓練できました。



～お知らせ～

新型コロナワクチン接種について

4回目の新型コロナワクチン接種券が、5月25日から順次発送されています。ご確認ください。ワクチンを接種したときは職員にお知らせください。

職員のPCR検査を実施しました

6月20日～22日に職員のPCR検査を実施しました。検査結果は全員陰性でした。

介護等体験を実施します

今年度は、感染症対策を実施しながら大学生の介護等体験の実習を受け入れます。よろしくお願いいたします。

『ケアマネジャー見学会』を行いました

ケアマネジャーの方々に、すみだ福祉保健センターの半日コースと1日コースの特色を知ってもらうために、「ケアマネジャー見学会」を実施しました。参加されたケアマネジャーから、「半日コースはマシンが多くて本格的だと感じました。」「利用者の皆さんがリハビリを頑張っている姿に感動しました。」と感想をいただきました。

～今月のイラスト～

題字横のイラストはデイサービスご利用中の志村成昭さんが描いたハイビスカスです。

随時、皆さんからのイラストを募集しています。是非ご応募ください。お待ちしております！

【編集後記】書店主催で、書籍発売を記念して著者の講演が配信されることが増え、最近、視聴にはまっています。先日も精神科医の著者が毎日を楽しめる考え方についてお話されました。コロナ禍で、我慢を続けているなかで苦しいことも多いかと思いますが、苦しいことをなくすのではなく、小さい楽しいことを増やし、相対的に楽しいことが多くなれば良いとお話していました。美味しかったことや映画を見て楽しむなど、日々の小さな楽しさを積んでいくように意識すると良いそうです。（編集長 RT）